

平成28年度第2回瑞穂市総合教育会議 会議録

平成29年2月24日（金）午後3時開議

○日 程

開会

1 あいさつ

2 議 題 (1) 「瑞穂市教育振興基本計画」(案)の進捗状況について

3 その他

閉会

○出席者

市 長	棚 橋 敏 明	教 育 長	加 納 博 明
教育長職務代理者	加 藤 悟	教 育 委 員	福 野 佐 代子
教 育 委 員	麓 英 里	教 育 委 員	森 下 伊 三男

○欠席者

なし

○説明のため出席した者の職・氏名

教育次長	高 田 敏 朗	教育総務課長	久 野 秋 広
学校教育課長	村 山 邦 博	生涯学習課長	伊 藤 巧
幼児支援課長	山 本 康 義	学校教育課主幹	郷 通 芳

○職務のため出席した者の職・氏名

企画部長	廣 瀬 充 利	秘書広報課長	石 田 博 文
秘書広報課主査	青 木 美 香	秘書広報課主任	小 野 真 太郎

○傍聴者

0人

開会 午後3時

開会の宣告

○石田秘書広報課長 皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中第2回の瑞穂市総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます秘書広報課の石田です。よろしくお願いたします。それでは会議に入る前に皆様にお諮りしたいと思います。本日の会議ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定によりまして原則公開となっております。ただ今のところ傍聴の方はいらっしゃいませんが、いらっしゃいましたら入っていただくということでよろしいでしょうか。

(全員同意)

○石田秘書広報課長 ありがとうございます。もう1点、瑞穂市総合教育会議運営要綱の第7条の規定に基づきまして議事録には皆様方のお名前が載るということになっておりますのでご承知おきください。それでは初めに棚橋市長より挨拶を申し上げます。

あいさつ

○棚橋市長 皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。昨日、予算発表ということで新聞や報道関係に発表させていただきましたが、とにかく目新しいことはないですかという一点張りで様々お聞きになりました。そんな中、これは二番煎じかもしれないと思いながらも、電子黒板を中学校の各校に入れさせていただきますと言いましたら、記者の方々が、岐阜市でもやっていることだけれど本当にいいものだよということで、本当に目の色を変えてくれました。昨年度までおられた教育委員の河合さんが、特に要望されていたのが電子黒板のことでした。何とか勇気を持ってやりましたら、よそに出遅れることなく何とかやれそうだなというところですね。昨日の新聞記者の方の反応を見ながらこんなことを思った次第でございます。瑞穂は多少遅れていたのかもしれませんが、逆にここでトップに立って行けるように、またそんなこともできるのではないかと考えております。昨

日の予算発表の中ではテーマも発表しました。初年度は皆さんご存じのとおり日本一挨拶があふれるまち、これを作りましょうよと始まりました。去年は、とにかく移住定住、1月1日にいてもらえれば市民税が入ってくるということを聞きました。田畑が宅地になれば税金が増える、それと同時に家が建てられれば固定資産税がもらえるということで、かなりまた税金をたくさんいただくようになりました。そういった根元ということで、移住定住のまちということをやりました。その結果、人口が404名増えました。そして今年は何がテーマかと言いますと、市民の皆様が健康で、幸せを感じ、家族を育める活力ある瑞穂市にしようということで、昨日の新聞には発表させていただきました。なぜ家族を育めるというところを言ったかと申しましたら、待機児童がたくさん増えているということが一番でございます。それと同時にその基本としまして、ご家族3人で移住してこられる方が非常に多いのです。お父さんお母さんそして小さい子どもさん1人、そこにペットがついてくる場合もあるかとは思いますが、まさにその小さい子どもさんが待機児童になるようではいけない。なおかつその方々はおそらく大きな大きな住宅ローンというものを背負ってきていると思います。そのためにも、しっかりと子どもさんを私たちの方で守ってあげる。そしてお母さんお父さんにはしっかり仕事をしてもらう。その上で教育、しつけの部分はしっかりしてくださいねと、そんなまちづくりをしたいと思っておりますから、今年のテーマとしてはやはり家族、ここで本当に育めるということを入れさせていただいた次第でございます。まさにその基幹になりますのがやはり教育委員会だと思っておりますので、どうか私の考えをご理解いただきまして素晴らしい教育委員会、また学校、また教育というのを一つお願いします。話が長くなりましたがまた一つ今年1年よろしく願いいたします。

○石田秘書広報課長 ありがとうございます。次に加納教育長さんからご挨拶をお願いしたいと思います。

○加納教育長 皆さんこんにちは。今市長さんから言われました、電子黒板導入の予算化を進めていただけて本当にありがとうございます。第1回

のこの会議ではICT教育の瑞穂市の現状と課題ということではいろいろ学校教育課から提案させていただき、それが予算化という形で実現したかなと思います。それを考えますと、この会議ではやはり喫緊の課題を常に取扱いながら今後進めていくことが重要だと思っております。私もまだ就任1年目で十分慣れておりませんので、今年はこの会議で終了することになるかと思っておりますけれども、来年度に向けて考えておりますのは、例えば他の市町では、特に近くでいうと愛知県の一宮市、ここではいじめの問題が大変大きく取り上げられております。こういった問題についてもここで取り上げながら市が開催しておりますいじめ問題対策連絡協議会、こういったところでもどう連携していくとよいか。あるいはこういったところでどう、この総合会議から意見を持っていくのかということもできるかと思っております。ですので、そういったところも含め教育委員さん方あるいは市のトップの市長さんのご意見等も伺いながらそういったところの連携をまた今後、喫緊の課題も含めて継続的に行うことができればよいなと思っております。また今日は今年度の課題についてこの後教育振興基本計画の進捗状況についてご意見を伺うわけですが、そういったものも同時に、先ほどの喫緊の課題についても取り上げながら、来年は開催回数を増やしなから本当に必要なものを形骸化せずに行っていくよう考えていきたいと思っております。今日はよろしく申し上げます。

○石田秘書広報課長 ありがとうございます。それでは瑞穂市総合教育会議運営要綱第4条の規定によりまして、これより棚橋市長が議長となって会議を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

議題 (1) 瑞穂市教育振興基本計画について

○棚橋市長 はいわかりました。それでは議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。それでは議題の瑞穂市教育振興基本計画(案)の進捗状況について説明を求めます。お願いします。

○村山学校教育課長 (資料に基づき瑞穂市教育振興基本計画の進捗状況につ

いて説明)

○山本幼児支援課長 (資料に基づき保育所・幼稚園・小学校の連携強化等について説明)

○村山学校教育課長 (資料に基づき安全・安心な学校づくりの推進等について説明)

○久野教育総務課長 (資料に基づき小学校洋式トイレ改修事業等について説明)

○伊藤生涯学習課長 (資料に基づき生涯にわたる学習活動の推進等について説明)

○棚橋市長 今、説明ありましたが、ご質問等ございましたら。はい。

○加藤教育長職務代理者 じゅうぶんに読み切っておりませんが、2、3気が付いたことをお話したいと思います。まとめ方について、主要事業の項目が書かれていて事業の内容があるのですが、この書きぶりは、この事業はこういうものですよという説明で終わるのか、こういう事業へ充実していくとか拡充するとか、重点を置いて進めますとか、書き方としては、計画ですから説明で終わらないでこういう風にしていきたいというような内容に統一してあげるといいかなと思いました。14ページの基本施策の安心安全で快適な教育環境の整備ですが、当然のこととして事業ではないので書いていらっしやらないのかもわかりませんが、一番下の5番ですね。これは老朽化ということで考えられているのですが、子どもたちが安心して生活するためには、老朽化対策と同時に安全対策というのでしょうか。それに対しての改善というか、各学校では毎月のように生活環境の確認ということで、安全であるかどうかというそういった点検票を持ちながら点検をして、問題があれば改善していくという取り組みをやっていらっしやると思います。老朽化だけではなく、子どもたちが安全に暮らせる内容でまとめていただけるといいなと思いました。同時に、1番の外国児童生徒支援の事業ですが、環境整備に入れるのか基本方針の2番に入れるのかどっちなのかなと思いながら読みました。それから、20ページ、生涯スポーツの推進について、次の生涯学習施設の維持管理と絡んでくるの

ですが、20ページの方はスポーツの振興という視点で書かれています。そのための施設設備の充実のところは5番に入ってくるのでしょうか。もし5番に入るとすると、総合センター、市民センター、巢南公民館という風に書かれていますから、生津の運動公園とかあるいは大月の方はどうなるかわかりませんが、そういったものが触れているといいのではないかなと思います。生涯学習の充実という意味でそういった設備面でも支援していくということも入れてあげるといいかなと思いました。基本方針の、地域に学び、世代を超えたコミュニティづくりを推進しますということですが、20ページ3番、歴史文化を生かしたまちづくりということでまとめていただいています。実際に歴史文化が中心なのですが、自然といいますか揖斐、長良に囲まれて水豊かな自然豊かな瑞穂市ということで書かれていますね。その施策、都市計画の中で公園の整備というのが確かあったと思います。ああいったあたりもやはり自然に触れながら瑞穂の自然の良さを感じると同時に、そういったことで感動することにより豊かな性格ができるという意味で、生涯学習に入ってくるか他の部署に入ってくるかわかりませんがちょっとそういった視点も必要ではないかなという風に思いました。

○棚橋市長 ご要望ということでよろしいですか。

○伊藤生涯学習課長 はい、ありがとうございます。

○棚橋市長 そのほかいかがですか。どうぞ。麓委員。

○麓委員 私も加藤委員と同じところで、事業の内容がちょっとバラバラかなという感覚があります。例えば7ページの保育所園児の体力向上の事業については、幼児運動教室を開催していますとすでに行っているにもかかわらず事業の達成指標が-5%。やっているのにできていないという話になるので、むしろそれを重点的に開催しますとかね。それを重点的にやっていきますとか、その文言をもう少し入れるといいかなと。理科の支援員の配置事業につきましても、理科の専門教員が少ない現状はもちろん教育の間でわかっていることなんですけども、これだけを見るとなんで理科が大事なのという話になります。根本にそ

れがあって、いきなりポンと出るので、じゃあ社会はという形なんです。瑞穂として理科に力を入れたいという何かを入れてほしいなと思います。あと社会教育に関係することで家庭教育学級の位置づけ、ここは全部たぶん生涯学習の地域に学びという、社会教育になってくるところだと思うんですけども、1点は家庭教育学級の位置づけというのがちょっと、これは学校にですか。

○伊藤生涯学習課長 学校の家庭教育学級と乳幼児家庭教育がそれぞれあります。

○麓委員 ありますよね。その辺のちょっと位置づけというか、家庭教育の在り方に、学習する機会としての家庭教育学級の位置づけが義務教育の中での人たちだけを対象にしているのか、市民全員が対象のそういう学級があるのか。だいたいこれは中身を見ればわかるんですけども、その辺がちょっとあやふやかなというところは感じます。以上です。

○福野委員 すいません。6ページですけども一時預かり事業が生後10か月というのがずっと前面に出ているような気がするんですけども、保育所の保育も10か月からですよ。これは私がいる頃に何か月からにしようという検討をしたときに、職員もまだ育っていないし小さな赤ちゃんを預かるのはとっても大変だと、そして給食も大変だから、なら大まかに10か月からなら安心だよねという風に私は決めた気がします。それからずっとこれなんですけれども、ほんとにそういうニーズはないですか。本当を言ったら生後57日から預かるのが基本ですけども10か月を当たり前にしていることが私は気になります。ここで預からないということは、どこかに親は頼んでいると思うんですよ。でも小さい子を増やせばもっともっと職員が要りますので、それを奨励するつもりはないんですが、一時預かりというのは本当に困った人が預けるんだから、もうちょっとその10か月、必要に応じて相談に乗るとか、そういうことをちょっとやっぱり今の時代、必要ではないかと。たぶん10か月は瑞穂市ぐらいかなと思います。私も先生たちの味方ですので小さい子は預かりたくないですけども、ニーズはあるかなと思います。小規模保育所は何か月から預かっていますか。

○山本幼児支援課長 まめっこに関しては、キッズさんなど、市と一緒になっていますね。

○福野委員 市と一緒にですか。清流なんかは。

○山本幼児支援課長 清流はちょっと早かったと思います。

○福野委員 10か月というのは今の世の中には少し合わないような気がします。10か月というのを、私が自分で決めた覚えがあるんです。ちょっと責任を感じています。それから、こういうところに全然関係ないかもしれないのですが、お願いをしておきたいのは防災についてなんです。一度皆さんにお願いしようと思っていたんですけども、阪神大震災でも東北の方でも避難所で小さいお子さんを持つお母さんたちが一番困ったのが、皆さんと一緒に体育館とかそういうところに避難していると、一日二日はかわいいかわいいで終わるんですけども、焦りが出てくると、静かにさせろとか、お母さんが夜中抱っこして周りをぐるぐる回っている。そういうことが取り上げられていたんですね。だから小さい子を避難させるのは、預かるのは、小さい子の施設でないといけないと思うんですね。そこにはおむつとかミルクとかそういうものは小さい子は保育園に行けばいいよ、助けてくれるよというそんなところが親御さんの安心に繋がるんじゃないかなと。ぜひ保育所を避難所にしていただけると、それもまた知らないではいけないから、皆さんにそれを伝えて保育所をぜひ小さい子のための、体育館ですとどこでおっぱいを飲ませていいかもわからないというそういうすごく声を耳にしました。瑞穂市はいざというときの小さい子のことまで大事にしているなど、そう思えるものがどこかにあるといいかなという風に思いました。

○棚橋市長 ありがとうございます。森下先生何か。

○森下委員 あまり言うことはないんですけども、さっき加藤先生が言われたように11ページの事業の内容の書き方について、英語の推進の場合においては非常に具体的にこういう事業をここに書いてあるんですけども、私がちょっと心配になったのは③のICTですね、ここには具体的にあまり入ってなくて、実際に導入が決まったんですけども、

導入するだけで安心してしまうものですから、その先にちゃんとやっているかというアフターフォローが非常に大事だと思います。そのためにぜひこの辺をもう少し具体的に、場合によっては数値目標、あまり私は数値目標が好きではありませんが、簡単に言うと、どのくらい稼働しているかということから始まって、そういった達成度、常にP D C A回すような形で推進していかないと I C T の場合にはたいてい途中でナヨナヨとなっちゃう可能性がありますので、事業内容をもう少しこう具体的に書かれるといいかなと、そういう風に思いました。

○**棚橋市長** ありがとうございます。ほんとに忌憚のない意見を出していただいてありがとうございます。あとはよろしいですかね。まだこちらは1月案でございますので、当然これから手直しや修正をしていきながら、また次の段階に行きたいと思います。

○**加藤教育長職務代理者** 基本計画づくりということで立派な計画ができてくるんですけども、実際にそれが形になっていかななくてはならないと思うんです。そんな観点から言うと教育委員会関係で皆さんに議論をいただいておりますけども、他の部署と連携していかないとそれは不可能なところが結構あるんです。例えば、先ほども申し上げた歴史文化で自然の方とはという話をいたしました。歴史文化にしても今ある遺跡を維持管理するのに教育委員会ではなくて都市管理でしょう。あるいはそういった瑞穂市の歴史を皆さんにP Rするために観光課が本当はなくてはいけない。今の商工農政課で一応部署は持っていらっしゃるんですけども、申し訳ない、いろいろお忙しいのでそういうことは関わりがないみたいですけども、ぜひそういったところと連携を持ちながらそういう遺跡を保存するなりあるいは整備するなりやりながら教育委員会の方がそういったことを利用して市民に学習してもらおうとか、あるいは今1人いらっしゃる、企画展の担当の方1人いらっしゃいますけども、1人ではとてもできませんのでちょっと有識者なりあるいは研究者の人たちが集まって組織を作ってやっていくという体制作りとかかなにかそういったことを教育委員会だけでなく他と連携しながらやらないと非常に難しいんじゃないかなと思います。ちょっと脱線し

てしまって申し訳ないですけども、生涯学習の方が瑞穂市と本巢市の境、三甲（株）の北側の自然が取り残されている川を調査されたというのは聞いたんです。確かにあそこはまだハリヨがいるんだよね。昔はどこにでもいたんだけど今はほとんどいない。瑞穂市の魚はハリヨではなかったかな。だとしてもじゃあ皆さん知っているかというところ存じないですよ。今、中小学校でハリヨの池を作って世話をしてくれているんですが、あの子供たちも一生懸命勉強をしているけども、そこに巣があるよとか、中に卵があるよとか、卵がどういう風に変化していくということまでは残念ながら追求できないね。当然市内全体皆さんたちにとってみると、そんな魚がいたのと終わっているわけなんです。そういったことをそのまま放っていくと、無くなるんです。無くしたくないし、こんな自然豊かな瑞穂市というところに皆さんに誇りを持っていただきたいんですね。じゃあそれを残して、皆さんに理解してもらって本当に毎日の生活に多少関わりながら、できるなら資料か公園か何かを作っていく。そのためにはここだけじゃいけないと思うんですよ。だからそういう横の連携というところを考えていただきたいながらこの総合計画の実践を進めていただきたいなと思います。

○**棚橋市長** まさに実践ですよ。そのほか、まだこれは走りですからどういう風にでも持って行けますので、皆さんぜひとも意見を出してください。今お聞きした中でもかなりリアルな本当にいい意見を出してもらったと思います。今日伺ったことを宿題としてですね特に実践、そしてその中で連携しなかったら実践しようにも進められないと。本当に大きな部分である意味が分かりましたので。

○**加納教育長** いろんなご意見いただきましてありがとうございます。今学校教育課長を中心にやってきてはおりますが、29年度からという案ではありますけども、慌てて3月までに作っていい加減な形のもので29年度スタートするよりも、29年度に入っても継続して検討していった年度途中で完成でもよいと思いますので、何も年度ぴったりで合わせなくてはいけないわけではないので、今いろいろご意見いただいたように内容については検討しながら、実践につながるような形

で進めていきたいと思しますので今日のご意見を十分踏まえて頑張っていきたいと思ひます。

閉会の宣告

○棚橋市長 それでは最後になりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4、第7項及び瑞穂市総合教育会議運営要綱第7条の規定により市長が議事録を作成することになっておりますが、内容については私に一任していただくということによろしいでしょうか。

(全員同意)

○棚橋市長 ありがとうございます。会議の円滑な運営にご協力いただきましてありがとうございます。

○石田秘書広報課長 皆様方どうもありがとうございました。これを持ちまして第2回の総合教育会議の方を終わりたいと思ひます。どうもありがとうございました。

閉会 午後4時10分